

ルンビニこども園全体的な計画

子どもの命を守り 心を育て 成長を見守る

教育・保育理念			
教育・保育方針	遊びから学び、心と体の成長を見守る保育を目指します 1 命の大切さの実感 2 大人から大切にされている実感(園・家庭・地域の中で) 3 多様な経験から生きる喜びの実感(遊びから学ぶ) 4 自然と共に生きている実感	教育・保育目標	1 まわりの子どもたちと一緒に遊び、楽しく食べて生きている事を喜べる子ども 2 あいさつができ、たくましい心と思いやり、いたわりの気持ちが持てる子ども 3 心に感じたこと考えたことを表現し、工夫して楽しく創造できる子ども 4 自然の移ろいを五感を使って自ら体験し、生きる喜びを感じるこのことができる子ども

養護 (保育教諭が行う事項)	年齢	乳児	1歳児(満1歳以上)	2歳児(満3歳児を含む)	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	教育・保育において育みたい資質・能力の3本柱
	生命の保持	・生理的欲求の充実を図る	・生活リズムの形成を促す	・適度な運動と休息の充足	・健康的な生活習慣の形成	・運動と休息のバランスと調和を図る	・健康・安全への意識の向上		
食育	情緒の安定	・受容的で応答的な関わり ・情緒的な絆の形成	・温かなやり取りによる心の安定	・自我の育ちへの受容と共感	・主体性の育成	・本物の自信の確立と他者の受容	・心身の調和と安定により就学への意欲醸成	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かるようになったりする「知識及び技能の基」 ● 気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」 ● 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」	
	食べる楽しみ	・保育者と安心して食べる	・ゆったりとした雰囲気の中で、様々な食材になれ、食べてみようとする	・様々な食材に興味を持ち、食べることの楽しさを知る	・色々な食材があることを知り、保育者や友達と食べることの楽しさを知る	・体と食べ物に関係に関心を持ち、バランスよく食事をとることの大切さを知る	・食べ物を通して命の大切さを知る		
学びと発見のある園庭	自然との共生	生命力あふれる園庭(水・土・光・風・草花・木・果樹・虫)との出会い							○健康な心と体 ○自立心 ○協同性 ○道徳性・規範意識の芽生え ○社会生活との関わり ○思考力の芽生え ○自然との関わり・生命尊重 ○数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ○言葉による伝え合い ○豊かな感性と表現

教育及び保育 (園児が環境に関わって経験する事項)	乳児(3つの視点)	乳児保育	(満1~2歳児)5領域	1歳児(満1歳以上)保育	2歳児(満3歳未満)保育	(満3~5歳児)5領域	3歳児(満3歳以上)教育・保育	4歳児教育・保育	5歳児教育・保育
	健やかに伸び伸びと育つ	・食事(授乳)・睡眠・排泄などの欲求が満たされ一人一人の生活リズムで心地良く過ごす ・人や物に興味を示し探索活動が活発になる	健康	・保育者が見守る安心感の中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育む	・簡単な身の回りのことを自分でできた喜びを感じる	健康	・生活習慣を形成する	・生活習慣の自立を図る ・体の異常に気付く	・生活習慣を確立する ・見通しを持った意欲的な生活態度を育む
身近な人と気持ちが通じ合う	・表情・喃語・指さし等の子どもからの表現を優しく受け止めてもらい心地よさを感じる	人間関係	・保育者や友達への関心が芽生え、関わりをもつ	・友達と関わってあそぶ楽しさを感じる ・自我が芽生える	人間関係	・自我を育て、友達との関わりを広げる ・決まりの大切さに気付く	・友達とのつながりを広げ、集団の中で自己主張したり、人の立場を考えながら行動する ・決まりを守ることに気付く ・いたわりや思いやりの気持ちが育つ	・友達との関わりの中で、相手を許したり認めたりする気持ちが育ち、自分たちで解決する力が育つ ・善悪の判断ができる ・集団の中での自分の存在を確立し大切なひとりでいることに喜びを感じる	
身近なものに関わり感性が育つ	・見る・触れる・探索活動を通して自ら関わろうとする意欲を育み感じたことを表現する	環境	・身近な自然や環境に親しみをもつ	・身近な自然に親しみ触れ合う中で興味や関心を広げる	環境	・身近な環境に関わり、驚きや発見が芽生える	・身近な環境に積極的に関わり、試したり工夫して遊ぶ	・身近な環境や社会事象に対する好奇心や探究心が広がり、数・量・形・文字・時間に関心を持ち遊びが発展する	
		言語	・生活や遊びの中で、簡単な言葉のやりとりを通し、発語の意欲が高まり、語彙が増える ・絵本に親しむ	・生活や遊びの中で、簡単な言葉のやりとりが広がる ・二語文から多語文へ広がる ・絵本やお話を通して言葉の感覚や語彙を豊かにする。	言語	・生活に必要な言葉を知り、思いや気持ちを言葉で表す ・絵本の内容やおもしろさを感じる	・友達と関わる中で経験したことや考えた事などを、自分なりの言葉で伝える ・絵本などを通して想像力が芽生える	・思いを適切な言葉で表現し、友達と喜びを伝え合う ・絵本などにより、様々なイメージの世界が広がる	
		表現	・様々な感覚を味わい、五感を刺激し、感性を豊かにする	・保育者と一緒に表現する楽しさを感じ、思いを表現することへの意欲を高める	表現	・気付いたことを自分なりに表現しようとする	・イメージを広げ、様々な方法で表現する	・表現する意欲が育ち、友達と協力して作り上げる達成感を味わう	

家庭との連携	特色ある保育	保健・安全	地域との連携	個別発達支援	小学校との連携
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達過程を踏まえての情報交換(送迎時の対応・相談、助言・連絡ノート・個人懇談・お便り等) 子どもの成長を共に喜び合える取り組み(入園式・親子遠足・参観日・にこにこ地蔵祭り・運動会・作品展・音とことばの発表会・卒園式) 専門性を生かした子育て支援(保育教諭・看護師・栄養士・ソーシャルワーカー等) 	<ul style="list-style-type: none"> 園庭での自然環境との深い関わり 樹木による園庭環境と紫外線対策 土踏まずの形成(裸足保育) 芝生による屋上緑化 地域ならではの自然を生かした保育 姉妹園なかすじ保育園との交流 	<p>◎園内における生活の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・発育・発達状況の把握(身体測定・内科検診・歯科検診) 看護師による朝、夕の健康チェック アレルギー診断書 玩具、使用用具の消毒 温度、湿度の管理と紫外線測定 園医との連携、予防接種の励行 防災・交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びのひろば 園庭開放 にこにこ地蔵祭り 運動会 地域への園だよりの配布 民生委員、児童委員との協力 職場体験、ボランティア、実習生の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 配慮を必要とする子どもの実態把握を図ると共に、個別の指導計画(短期目標・個別発達支援計画・サポートマップ・週案)を作成する 年4回保護者と懇談し、個別指導計画・短期目標の共通理解を深める 毎月の職員会議にて全職員で配慮を必要とする子どもの共通理解を深める 週一回ソーシャルワーカーによる評価、助言 療育施設と連携し配慮を必要とする子どもの共通理解を図る 卒園前に就学先の小学校への移行支援計画を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生との交流(川あそび・ゲーム大会) 保幼小連絡会 小学校参観への出席 入学式、卒業式への出席 保育所児童保育要録を小学校へ送付 福井小学校との交流学習(年3回)